

式辞

三年間過ごしてきた学校が、皆さんとの別れを惜しむような涙雨、そして名残雪の中、卒業式を迎えました。しかし、季節は確実に春に向かっていきます。

本日は、御来賓の皆様、多くの保護者の皆様のご列席をいただき、第四十五回卒業式を行えることは、この上ない喜びです。

三年生の皆さん、卒業おめでとう申し上げます。

今、卒業証書を受け取り、どんな思いを抱いているでしょうか？ その卒業証書は、学校で様々なことを学んだ証です。また、学校に来られなくても、いろいろ考えたり、悩んだりした三年間の証です。

さて、卒業生の皆さんに尋ねます。中学校の三年間で、得たものの、手に入れたもので一番価値のあるものは何でしょうか。毎日受けた授業。その授業を通じて身に付けた新しい知識や技能でしようか。初めて本格的に取り組んだスポーツや文化活動。その部活動で培った体力やあきらめない気持ちでしようか。

こう答える人もいるでしょう。三年間で得た最も価値のあるものの、それは「友達です」と。

昨年の十二月、三年生と面接を行いました。自分の長所や得意教科、趣味、卒業後の進路等を話す中で、友達に感謝しているという生徒が多くいました。

「友達に励まされて、合唱の音がだんだん大きく出せるようになりました」。 「友達がいたから部活動を最後まで続けることができました」。

人間は弱い生き物で、辛いことや苦手なことから逃げたくなります。でも友達と一緒に頑張ることができます。みんなで決めた目標ならば、努力することもできます。大人の助言よりも、友達に励ましてもらった方がずっとやる気が出たことは多かったことでしょう。

校長面接で、こう言っている人もいました。「友達に教えてもらって問題が解きました」。 「勉強を僕がわかるように教えてくれました」。 学校は、教室は、みんなで学習するところで、先生からだけでなく、友達から教えてもらうことも、とても大切な学び方だ

す。私も仕事をする中でわからないことは他の先生や地域の方々に訊きます。いろいろな人の意見に耳を傾け、考えて判断することもしばしばありました。人に尋ねることは、自分で考えることにつながります。

卒業すると、皆さんはそれぞれの道に進みます。真光寺中には、小学校が同じだったり、この周辺に住んでいて価値観が似ていたり、あなたのことを知っている、理解してくれる人が多くいました。しかし、進学する高校は知らない人ばかりで、この地域を離れる人もいます。きっと雰囲気も異なることでしょう。そして、考え方や価値観が違う人と関わる機会が多くなります。戸惑うこともあるでしょう。しかし、初めて会う人、自分とはちょっと違う人との出会いを恐れなくてください。違う価値観の人と付き合うことは、自分の窓を開いて、広い世界を知るチャンスなのです。「人はこんなふうに考えるのか」「あの人の見方は全く違うな」「すごい経験談で驚いた」等、たくさんの刺激を得ることができます。また、相手の話に関心を動かされた時は、「自分はこういうことに感動する人間だったのか」という発見もあります。人と話すことは相

手を知ることでもあり、今まで知らなかった自分自身を知ることにもなります。

そこで大切なのは、「他人は自分とは違う」という認識です。人間は誰一人「同じ人」はいません。「違う人」と力を合わせて生きています。だから、相手を否定せずに、歩み寄ることをしてみてください。違う価値観に触れることから新しい発想も生まれます。このようなことを行うには勇気がいります。

昨日、東京ドームでメジャーリーグの開幕戦が行われました。ロサンゼルス ドジャースとシカゴ カブスの試合でした。両球団には併せて五人の日本人選手が所属していますが、渡米の経緯やアメリカでの生活は皆異なります。英会話の実力も違います。しかし、大きく環境が異なる場所に挑戦する気持ち、自分とは違う新しい仲間との積極的なコミュニケーション。これらが彼らの勇気の証であり、原動力になっていると思います。

皆さんには、「自分とは違う人」を大切にして、新たなものへ挑戦する「勇気」をもって生きていってほしいのです。

真光寺中学校で学んだことを生かして、これから自分自身の足でしっかりと歩いていきましょう。そして数年後にいろいろな職業に就くでしょう。しかし、人工知能AIの普及によって将来的に無くなる職業もあると言われていきます。校長面接では、料理人になりたい、保育士になりたい、医療系の仕事に就きたい、という目標を語る人がいました。また、人の役に立つ仕事がしたいという人も多くいました。これらの仕事はAIに奪われることはないと思います。料理も保育も医療も、人の役に立つ仕事も、相手のことを考えて、人と関わる仕事だからです。友達と話すこと、人から学ぶこと、時に気持ちがすれ違って、人と関わる良い経験になります。それは、仕事でなくても、豊かな人生を送ることにつながると思います。

ちなみに、教師の仕事も学習を教えるばかりでなく、児童・生徒の人間的な成長に関わる仕事であり、AIにはできません。このことから、東京都の小・中学校の教師になる人が現れる期待もしています。

地球上に八十億人以上の人がいる中で、皆さんと共に過ごしたことは奇跡であり、出会いに感謝します。三年間ありがとうございました。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。これまで、本校の教育活動へのご理解とご協力に、深く感謝申し上げます。

結びになりますが、卒業生がそれぞれの幸せの形を自分の力で見つけること、そして、ご家族のご健康とご多幸をお祈りして、式辞といたします

令和七年三月十九日

町田市立真行寺中学校

校長

矢島加都美